

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

団体名	発達サポートラボ～コノコノコト～
-----	------------------

取組の名称	発達障害や発達グレーゾーンの子と健常児が共に学びあえるインクルーシブな親子の居場所作り
実施場所	Warmth space(川崎市幸区にある貸しスペース) 神奈川県川崎市幸区鹿島田2丁目20-53 山崎ビル202
対象地域	川崎市幸区、川崎区、中原区周辺地域
対象地域の特色・課題	マンションの増加に伴い核家族化が進行し、育児に関する悩みや不安を周囲に相談できないまま、親子で孤立する傾向にある。
取組の趣旨・目的	<p>本取組は、子育てや子どもの発達に不安や悩みを抱える保護者に対し、身近で安心して相談できる環境を整備し、孤立の防止および育児不安の軽減を図ることを目的とする。</p> <p>特に、発達の遅れや障害のある子どもを育てる家庭においては、外出や地域との関わりに困難を抱えやすく、必要な支援にアクセスできない状況が課題となっている。このため、保育士や助産師等の専門職による個別相談や制度活用支援を行うとともに、インクルーシブな遊び場を提供することで、誰もが気軽に参加できる居場所づくりを推進する。</p> <p>また、スヌーズレンルームを活用した遊び場を地域に開かれた子育て支援拠点として位置付け、親子がリラックスして過ごしながら相談できる環境を創出することで、継続的かつ切れ目のない支援体制の構築を目指す。</p> <p>さらに、保護者同士のつながりや相互支援を促進するとともに、障害の有無に関わらず子ども同士が共に過ごす機会を創出し、多様性を尊重する地域社会の形成に寄与することを目的とする</p>

<p><b>実施内容・実施スケジュール</b></p>	<p>1部 10:00～11:00 0～2歳までの親子が対象  2部 11:00～12:00 3歳～小学校3年生までの親子が対象  ※内容によっては1部制  スヌーズレンルーム&amp;育児相談9回  ①6月24日(火) ②7月27日(日) ③8月24日(日) ④10月28日(日) ⑤11月23日(日) ⑥12月22日(月) ⑦12月23日(火) ⑧1月27日(火) ⑨3月22日(日)</p> <p>スヌーズレンルーム&amp;ワークショップ4回  ①8月20日(水) ②9月23日(祝) ③11月16日(日) ④2月22日(日)</p>		
<p><b>参加者の年代</b></p>	<p>乳幼児家庭・障害のある子を持つ家庭</p>	<p><b>定員</b> (1回あたり)</p>	<p>5人～8人(イベント内容による)</p>
<p><b>実施頻度</b></p>	<p>月1回程度</p>	<p><b>活動日数</b> (年間)</p>	<p>13日</p>
<p><b>スタッフ体制</b></p>	<p>島津悠香(エンジェルナーサリー鹿島田園園長)  佐藤ゆめ子(美術教諭・アートセラピー資格保有、未就学児及び障害児の指導経験、発達障害児の育児経験)  涌井瑞世(塾講師として小学生～高校生の指導経験、障害児の育児経験)</p>		
<p><b>連携する団体・連携の手法</b></p>	<p>エンジェルナーサリー鹿島田</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の派遣</li> </ul> <p>つながる SAIWAI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作イベントの開催</li> <li>・「サンライズつかごし・かしまだ」(児童発達支援・放課後等デイサービス)</li> <li>・「こばんはうすさくら新川崎教室」(児童発達支援・放課後等デイサービス)</li> <li>・「ハッピーテラス新川崎教室」(放課後等デイサービス)</li> <li>・「LIBOらぼかわさき園・かわさきにし園」(児童発達支援)</li> </ul>		

<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p><b>1. 保護者の育児不安の軽減と心理的負担の解消</b> 子どもの発達に不安を抱える保護者に対し、安心して過ごせる環境や専門的な関わりを提供することで、孤立感の軽減および育児不安の解消が見込まれた。</p> <p><b>2. 社会参加機会の創出と外出支援</b> 発達の遅れや障害、乳幼児であることを理由に外出を控えていた親子に対し、受容的で安全な場を提供することで、社会参加の機会創出および外出へのハードル低減が見込まれた。</p> <p><b>3. 地域における切れ目のない子育て支援体制の構築</b> スノーズレンルームを地域の子育て拠点として位置付けることで、身近な場所で継続的な支援を受けられる環境整備が進み、地域全体で子育てを支える体制の強化が見込まれた。</p> <p><b>4. インクルーシブな環境の形成と多様性理解の促進</b> 障害の有無に関わらず子ども同士が共に過ごす機会を創出することで、相互理解や関わり方を学ぶ機会が生まれ、多様性への理解促進が見込まれた。</p> <p><b>5. きょうだい児支援による孤立防止</b> 同様の悩みを抱えるきょうだい児同士の交流機会を通して、心理的負担の軽減および孤立化の防止が見込まれた。</p>
----------------------------	--